

2020年度 独創的研究助成費 実績報告書

2021年 3月 11日

報告者	学科名	保健福祉学科	職名	教授	氏名	山本孝司
研究課題	ルイザ・メイ・オルコットの教育思想に関する研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	山本孝司	保健福祉学科・教授	教育学	研究の調査、分析、総括	
研究組織	分担者					
研究実績の概要	<p>本研究では、オルコットの教育思想をアメリカ教育史の中に位置づけ、19世紀末から生起するアメリカ進歩主義教育との影響関係を明らかにすることで、今日の教育現場における子ども主体の教育実践の理論的根拠を彼女の思想の中に見出すことを試みた。</p> <p>ルイザ・メイ・オルコット (Louisa May Alcott, 1832-1888) は、19世紀アメリカの子ども向け少女小説作家として知られ、代表作『若草物語』 (<i>Little Women</i>) は、当時の少女たちの心を掴み大ベストセラーとなり、その後も世界各国で翻訳され、家庭小説の古典として世代を越えて読み続けられている。彼女の小説の中には、19世紀当時のアメリカ社会に浸透していた人間観、子ども観、教育観とは相入れない進取の精神に満ちた社会と人間の捉え方が垣間見え、その意味でルイザは後の進歩主義教育につながるユニークな思想の持ち主であった。ルイザ自身は1888年に没する。しかし、彼女が小説で描いた少女少年像は、教育界を含めたアメリカ社会における子ども観のスタンダードになる。</p> <p>19世期末から生起した進歩主義教育運動は、急速に進みつつあるアメリカ社会において、子どもの主体的能動的活動を尊重する子ども中心主義を核として展開される教育改革であったが、この運動が生じるためには、植民地時代から19世紀までアメリカ社会において支配的であったピューリタンの人間理解に基づく子ども観が否定され克服される必要があったことが本研究を通して明らかになった。</p> <p>なお、本研究の成果については、『2020年度 岡山県立大学教育研究紀要』に「ルイザ・メイ・オルコットの教育思想ーアメリカ進歩主義教育へのプレリュード」として投稿、採択された。</p> <p>また、OPU フォーラム2021で研究報告 (特研 (独創) : 教育) を展示予定である。</p>					

成果資料目録	<ul style="list-style-type: none">・山本孝司「ルイザ・メイ・オルコットの教育思想—アメリカ進歩主義教育へのプレリユード」(『2020年度 岡山県立大学教育研究紀要』)・山本孝司「ルイザ・メイ・オルコットの教育思想に関する研究—アメリカ進歩主義教育の源流」(『OPU フォーラム 2021』特研(独創):教育)
--------	--